

早稲田の杜もり

ご挨拶

35年の歴史を継承し、
さらなる進化を



エクステンションセンター所長

太田 正孝

早稲田大学商学学院教授、博士（商学）

かつて日本の大学は、学部受験競争の主役たる18歳から22歳（現役入学の場合）ならびに若干の大学院生という、きわめて限られた年齢層のための時空でした。しかし、現在は社会のあらゆる年齢層に対して開かれた学びの場であると同時に、学んだことをさまざまな観点から実践するコミュニティズ・オブ・プラクティス（communities of practice）へと変容しました。

おそらく人間の最大の長所の一つは、持続的な学習を通じて進化できることでしょう。人間は知性と感性を自律的に動かし続けることで、たとえ肉体的には衰えても、生命ある限り進化し続けることができます。パスカルは「人間は考える葦である。」と言い、ゲーテは「鳥獣はその器官によって教えられる。人間は器官を訓練し、支配する。」と述べています。常に好奇心を持って、まったく新しいことを学び、

あるいは既に知っていると思っていたことを別の角度から問い直すことは、年齢に関わらず、自分自身を進化させる原動力です。知的好奇心をもつ全ての人々に開かれた学びの時空である早稲田大学エクステンションセンターも、過去の35年にわたり果たしてきた役割を継承しながら、さらなる進化を遂げることで社会のニーズに応じてまいります。どうかご期待ください。

目次

02 エクステンションセンター「英語」講座のご紹介

04 「知の開拓」
講師インタビュー 岡内 三真先生
受講生インタビュー 島岡 育代さん

06 早稲田の杜を歩く
ワセモリギャラリー

07 冬のおすすめ講座のご紹介

08 インフォメーション
「友の店」に訪問